

「21世紀型能力」を育む教育への アプローチ

～対話による学びそして変革へ～

三宅 なほみ 東京大学大学総合教育研究センター教授

大学発教育支援コンソーシアム推進機構副機構長。カリフォルニア大学サンディエゴ校心理学科博士課程修了。博士（心理学）。青山学院女子短期大学、中京大学情報理工学部を経て2008年より現職。専門は認知科学、学習科学。対話など協調的な過程によって理解が深化する仕組みを解明し、その知見を教育現場に活用。一人一人が賢くなれる協調的な学習活動のデザインから実践・評価までを実践的に研究している。主な著書に、『21世紀スキル：学びと評価の新たなかたち』（監訳、北大路書房）、『教育心理学概論』（共著、放送大学教育振興会）。

白水 始 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官

2000年から中京大学情報科学部認知科学科助手、情報理工学部情報知能学科准教授を経て、2012年度より現職。次期学習指導要領改訂の基礎資料となる「教育課程の編成に関わる基礎研究」に関わる一方で、文部科学省「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」の評価・推進委員や「情報活用能力調査に関する協力者会議」委員を務めながら、「教員養成等の改善に関する研究」も含めて、今後の教育のための授業法、評価、ICT活用、教師支援を一体的に進める。

Scott MacLeod ハワイ東西センター教育学部副部長

ブリティッシュコロンビア大学博士号。世界市場の動向調査分析にもとづいた企業目標の設定、リーダー養成において20年以上アジア市場で活躍の実績を持つ。米国フォーチュン誌ランキング多国籍企業をはじめとする民間企業、公共団体や非営利団体へ向けたコンサルティングなどで、アジア全域や環太平洋地域において組織戦略の改革に力を注ぐ。マクリード氏はビジネス、社会、その他環境やトレンドの分析調査により、組織やリーダーによる重要な決断や行動のための支援を行っている。2004年以降、ホノルルにあるハワイ東西センターに拠点を置き、リーダーシッププログラムでは、「主要な課題」に関する教育担当。地域動向とリーダーシップを扱った新規プログラムの実施と発展に取り組んでいる。

現在、1).学びと行動のモデル2).戦略的洞察とリスク分析 3).ソーシャルネットワーク分析を主に研究。

開催日時：2015年 2月21日（土） 通訳あり

【午前の部】 8:30～12:00 定員60名 8時受付開始

ワークショップ：「対話による学び体験」—The World Cafe—

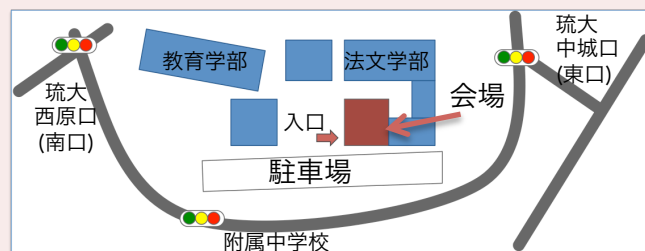
【午後の部】 13:00～17:00 定員160名

場 所：

国立大学法人 琉球大学

(西原町字千原1番地)

法文学部新棟 111・215室



参加費無料：事前申込み（当日受付は定員に空きがある場合のみ）

主催：沖縄県

（受託者：特定非営利活動法人 沖縄語学センター）

後援：琉球放送、琉球朝日放送、沖縄タイムス、琉球新報

ラジオ沖縄、FM沖縄

お問合せ先

特定非営利活動法人沖縄語学センター

TEL：098-943-1852

URL：<http://www.okilc.org>

科学や情報技術の発展、グローバル化により教育環境が激変する中、ここ数年話題になっている21世紀型能力（「今の世界の経済的技術的発展の先端を見据え明確にそれを牽引しようとする高度に知的な能力」と提唱されている能力）や、世界経済機構（OECD）の掲げる、コンピテンシー（「社会生活において人が本来持っている知識を実際に行動に移して活用していくことができる力」と定義される）の国際研究調査が進み、同組織による学習到達度調査（PISA）でも基本の読解、数学、科学以外に「思考力」「協働」「協調的問題解決スキル」などが盛り込まれようとしています。そのような国際的流れを受け、我が国では文部科学省が新しい方針を徐々に打ち出しており、沖縄県においては、全国学力学習状況調査（学力テスト）小学校部門全教科総合最下位から24位への改善、又「沖縄21世紀ビジョン実施計画」及び「沖縄県教育振興基本計画」の中で、「情報社会・国際理解への対応」を推進するなど取組に励んでおります。当セミナーでは、各国が共同又は各々で取り組む「21世紀型能力」を育む教育、「新しい学び」とはどのようなものか、そして沖縄、日本そしてハワイ（米国）で行われている先進的取組にはどのようなものがあるかについて学び、「明日私達に出来ることは何か」を共に考えます。

キーワード:21世紀型能力、コンピテンシー、協調的問題解決スキル、ICTを活用した授業や評価、思考力、論理的思考、クリティカルシンキング(批判的思考)、創造性、イノベーション、シチズンシップ、多様な環境における協働、「学び方」の学び、教働知

プログラム

【午前の部 定員:60名】

8:30～12:00 ワークショップ:「対話による学び体験」—The World Cafe—
 Scott MacLeod ハワイ東西センター教育学部副部長/リーダーシッププログラム長
【事例発表】

- I. 「プナホウスクールの取り組みについて」
 ～知識を伝える教育から、対話を通し創発へと導くファシリテーターとしての役割へ
 Shaaroni Wong ハワイプナホウスクール 中等部
- II. 「ICTでつないだ沖縄と海外の教室:新しい学びの発見」
 與儀峰奈子 琉球大学教育学部教員養成課程 准教授
- III. 「対話を促すICT活用の今とこれから」
 熱田 健 沖縄県立総合教育センター IT教育班 研究主事

【午後の部 定員:160名】

13:00～17:00 **【基調講演 I】**
 「新たな学びについて」/「知識構成型ジグソー法」～取り組みと成果について
 三宅なほみ (東京大学 大学総合教育研究センター)

- 【事例発表】**
- I. 埼玉県 高等学校における「国語の授業実践報告」
 畑文子 埼玉県立大宮高等学校
 - II. 協同学習でかわる教師の学び 一校内研修における取り組み事例より一
 平敷りか 琉球大学教育学部附属中学校

【基調講演 II】
 「明日から私たちが出来ること」
 白水始 (国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官)
【クロストーク】

氏名、電話番号、住所、電子メール、所属機関、参加区分を選択、下記申込書に記入し、FAXにて送信するか、メールまたは電話にてお申し込みください。
 2月19日（木曜日）以降は当日会場にて受付してください。(当日受付は定員に空きがある場合のみ)
 特定非営利活動法人 沖縄語学センター
 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-2-17 3F TEL: 098-943-1852 FAX: 098-943-1853
 URL <http://www.okilc.org> E-mail: olc@okilc.org

- 申込方法
- 申込期限
- 申込先

「21世紀型能力」を育む教育へのアプローチ 参加申込書

①フリガナ			
②氏 名		③電話番号	
④住 所		⑤E-mail	
⑥所属機関 ・部署		⑦参加区分	I. 午前・午後の部
			II. 午後の部のみ